



協会ニュース

2021.1 vol.65

編集・発行 三重県医療ソーシャルワーカー協会
ホームページ <http://www.mie-msw.com/>
事務局 小山田記念温泉病院
〒512-1111 四日市市山田町5538-1
☎059(328)1260

目次

- ◇2020年度 三重県医療ソーシャルワーカー協会総会・書面決議結果報告
- ◇研修報告
- ◇新人紹介
- ◇病院紹介
- ◇協会トピックス
コロナ禍の面接技術VOL.1
- ◇次回研修案内
- ◇編集後記

2020年度 三重県医療ソーシャルワーカー協会 書面決議結果報告

今年度はコロナ禍により、各議案について書面での決議となりました。

会員の皆様には6月下旬に書面にてお伝えしましたが、改めて結果をご報告させていただきます。

総会時点での全会員数189名のうち、過半数にあたる145名の書面決議書が提出されたため、総会は成立しました。

【第1号議案】

2019年度事業報告及び収支決算報告

【第2号議案】

2020年度事業計画及び予算案報告

【第3号議案】

役員改選

⇒上記すべての議案について可決されました。

役職	氏名	所属機関	担当
会長	山田 剛	介護老人保健施設 みえ川村老健	
副会長	鈴木 志保子	三重大学医学部附属病院	研修
副会長	高村 純子	国立病院機構 三重病院	研修
理事	落合 幸太郎	藤田医科大学 七栗記念病院	研修
理事	落合 伸也	松阪市民病院	研修
理事	川口 恵生	主体会病院	事務局
理事	久保 信裕	鈴鹿回生病院	研修
理事	小坂 絵里加	三重大学医学部附属病院	広報
理事	田邊 有紀	名張市立病院	研修
理事	兵倉 香織	市立四日市病院	広報
理事	松田 美穂	岡波総合病院	広報
理事	脇海道 友美	伊勢赤十字老人保健施設 虹の苑	研修
監事	森川 幸雄	三重県医療ソーシャルワーカー協会元副会長	
監事	吉川 晴子	市立四日市病院	
相談役	伊藤 隆博	岩手県立大学社会福祉学部	

※本人都合にて退会者あり、議案の提案より1名減員。

研修報告

1. いまさら聞けない オンライン研修って何??

日時・場所:2020年10月24日(土) 10:00~11:30 / Zoomを用いての研修

講師:岩手県立大学社会福祉学部 伊藤隆博氏

参加者:29名

★前半は伊藤先生によるオンライン研修の受け方、Web会議システムの使い方についてご講義いただき、後半はグループセッションとして各所属機関の近況や困りごと等を共有しました。

参加者の声:

- 使い方を知ることができたので、実践していきたいと思います。
- 初めてだと緊張でよく分からないうちに終わってしまう事が多いのですが、初めてのZoom研修会参加で機械音痴ですが、楽しかったです。
- 講師の資料、話も分かりやすかった。やっぱりグループセッションはSWの研修の醍醐味だと感じた。
- 初めてのオンライン研修でしたが、自宅で受けられるのはすごく良いと思った。まだ自分の職場では面談やカンファレンスにオンラインツールは使用していないが、環境が整うのであればかなり有用なのではないかと思った。



Zoom研修の様子

2. 私たちがつくる社会保障 ～政策的動向をふまえて～

日時・場所:2020年11月14日(土) 10:00~11:30 / Zoomを用いての研修

講師:津市立三重短期大学 長友薫輝氏

参加者:27名

★社会保障制度をめぐる改革の経緯から、現在議論されている全世代型社会保障、医療・介護・社会福祉をめぐる動向、医療現場の働き方の変容、介護・社会福祉を視野に入れた地域共生社会等、長友先生の視点でお話いただきました。とっても興味深い90分講義でした。

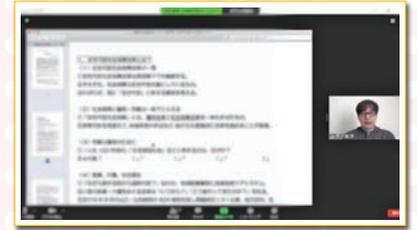
参加者の声:

○改めて広く深い視点を持つことと、それを普段の業務に活かすことの大切さを学びました。ありがとうございました。また、余計な感想ですが…本日、目が覚めたら9時45分でした。しかも県外、なのに10時からの研修にフル参加できるって、Web研修の良さを最大限感じました。企画していただいた理事の皆様、本当にありがとうございました。

○社会保障の特徴等の話を聴き、改めてソーシャルアクションの必要性を考えさせられた。個人レベルも協会レベルも含め、自分たちで知る、動く、作る視点をもっと意識していきたいと思った。時間も限られていたので、長友先生にはもっとお話し伺いたいです。



長友薫輝講師



Zoom研修の様子

新加入会員紹介

今年度に入新会されました方のご紹介です。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。



加藤 沙希
かとう さき
市立四日市病院

4月より新卒で入職いたしました。市立四日市病院に加藤が2名になりましたので、フルネームで覚えていただけると嬉しいです。まだまだ至らない点ばかりですが、精一杯頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



土屋 貴弘
つちや たかひろ
市立四日市病院

千葉県出身で前職は長野県で福祉用具の販売をしていました。至らぬ点が多く、ご迷惑をおかけしていると思いますが日々成長し信頼されるMSWになれるよう頑張ります。ご指導のほどよろしくお願いいたします。



磯部 卓也
いそべ たくや
主体会病院

昨年1月より他業種から主体会病院医療相談員として勤務しております磯部と申します。まだまだ不慣れなことばかりで、先輩・多職種、他機関の方々にご迷惑をかけることばかりですが、日々成長していけるよう努めて参りたいと思います。



西濱 晶子
にしはま あきこ
みたぎ総合病院

昨年度の10月にMSWとして入職しました。これまでは老人保健施設で働いていました。病院としての経験はありませんので、ご迷惑かけるとは思いますが、一所懸命頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



増井 克充
ますい かつみち
三重県身体障害者総合福祉センター

三重県身体障害者総合福祉センターは、身体に障害のある方、高次脳機能障害のある方、難病の方に対して医学的、社会、職業リハビリテーションを行い、ニーズに合わせた地域生活ができるよう支援します。



峠 友昭
とうげともあき
社会医療法人 畿内会 岡波総合病院

47歳で決して若くはない新人です。前職は高齢者施設の生活相談員や介護支援専門員で、医療ソーシャルワーカーとしては全く初心者です。今後ともご指導頂きますようによろしくお願いいたします。



松田 崇志
まつだ たかし
社会医療法人 畿内会 岡波総合病院

10月から中途採用で入職しました。日々の業務で出来ることを増やし、1歩ずつ成長していきたいと思っています。また研修を通じて退院支援の知識を深めたいです。よろしくお願いいたします。



病院紹介《医療法人 社団主体会 小山田記念温泉病院》

第8回目は、小山田記念温泉病院からの報告です。

小山田記念温泉病院は、先に開設された小山田特別養護老人ホーム(社会福祉法人青山里会)において、医療の必要性が高いとされる寝たきりの方々へのケアを目的として、昭和52年(1977年)に小山田病院として開設されました。その後、地域の医療ニーズに応える為、昭和61年に今の場所へ新築移転し、小山田記念温泉病院と改称され、現在に至っています。

当院は四日市市の南部にあり、また鈴鹿市の西部にも隣接していることから、四日市市、鈴鹿市の急性期病院の後方病院として、あるいは、隣接する施設群や地域の方々のかかりつけ医療機関として、主に回復期、慢性期の医療を中心に担っています。

当院は一般病棟の他に、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、医療療養型病棟、障害者施設等入院基本料病棟といった多種多様な病棟、そして、病院と同じ建物に介護老人保健施設みえの郷を併設し、回復期・慢性期における患者さまの様々なニーズにお応えできるよう体制を構築しています。

当院では平成29年に介護療養型病棟を廃止し回復期リハビリ病棟を増床、平成30年には地域包括ケア病棟を開設しました。病院に求められる機能が日々変化していく中で、当院としても病床の機能を変化させてきました。そして、それに伴い医療ソーシャルワーカー(以下、MSW)の担う役割も変化しています。

一番大きな変化は、この数年で病院全体の入院患者数が大幅に増加したことです。入院患者の多くが高齢者であり、その多くが退院の際に支援が必要となります。当院では入院患者のほぼ全員に、入院時からMSWの担当を決め、入院から退院まですべての経過を追いつつ退院支援ができるように取り組んでいます。

また、最近では地域のケアマネージャーや地域包括支援センター、在宅介護支援センター、急性期病院の救急外来からの入院相談も増加しており、回復期・慢性期のMSWといえど、スピード感を持った対応が求められているのだと実感しています。相談件数の増加、業務の多様化に対応するため、MSWの増員も行いました。平成28年までは3名体制でしたが、現在は6名が配属されています。増員後も全員で問題を共有できるように、常にコミュニケーションを心がけています。

コロナ禍により、患者様への支援の在り方も随分と変わってきました。面会や来院を制限せざるを得ない状況の中、いかに患者様に不利益になることなく、入院を支援するか、また終末期に患者と家族が後悔なく過ごすためには、どうすればよいか等、MSWとして、考えなくてはいけないことも増えてきています。今後もニーズの変化に合わせ、私たちが担うべき役割を全うできればと考えています。(文・MSW 山浦)



医療法人 社団主体会 小山田記念温泉病院

所在地：〒512-1111 三重県四日市市山田町 5538-1

電話：059-328-1260 (代表) FAX：059-328-1921

近隣のおすすめ
グルメ紹介

小山田記念温泉病院内 デイリーヤマザキ

高級食パン、食べたことありますか？
噂には聞けど、なかなか食べる機会がない、なんて方もいると思います。小山田記念温泉病院では2019年12月に、デイリーヤマザキが開店しました。デイリーヤマザキといえばヤマザキのパン。実はヤマザキにも2種類の高級食パンがあります。どちらも普通の食パンとは違い、甘みが強く、スタッフの間でも『何もつけなくても美味しい』と話題です。曜日限定販売であり、いつでも購入できる訳ではありませんし、三重県内にはデイリーヤマザキの店舗があまりありません…ですが！当院にお寄りの際、もしくは、ヤマザキ系列のお店を見つけた際には、購入していただいても損はないと思います。『どうしても食べたい！』という方は、小山田記念温泉病院医療相談室にご相談下さい(笑)

ヤマザキの高級食パン
あなたはどっち派？
Gold Soft
太陽のちから
926円

▶▶▶ 次回は、尾鷲総合病院からの報告を予定しています。お楽しみに。

～コロナ禍の面接技術 VOL.1～

コロナ禍でマスクをつけることが当たり前になりました。正しくマスクをつけると顔の半分以上が隠れますが、見えないからと気を抜いて、埴輪のような顔になっていませんか？最近ではオンライン会議も増えてきましたが、会話中の無防備な自分の表情をみる絶好の機会です。また、これまでは相談者との関係を早く、意図的に構築するため、SW自身の表情をあえてみせることで面接時にはマスクをしない方もみえたのではないのでしょうか。

目は脳の続きといわれますが、SW側の焦りや動揺、緊張は目やその周りの表情に出てしまいます。今、顔の表情が「目」だけというかなりハイレベルの面接になっています。そこで、すぐにできる「コロナ禍の面接技術」第一弾をお届けします。

まずは技術の前にベースです。みなさん、自分のベストスマイルをお持ちですか。職場の仲間に、マスクをしたままで、ちょっと笑顔チェックしてもらいましょう。①自分が思う「相手にむけたい優しい笑顔」をつくっててください。②相手の方に「それがいい！」とってもらえるまで、「優しい笑顔」特に、「目元」を意識して笑顔をつくります。③その表情をインプットしましょう。恥ずかしがらずに30秒そのままです！楽しくなってきましたか？自分が思っている以上に目元の筋肉も動かさないとOKもらえなかったのではないのでしょうか。目の下の筋肉も使いますね。

また口元もマスクをしているからと、ぼーっとしてはいけません。まず声は出さずに①「え」の口をし、次に②「いいーっつ」と口角をぐっとあげます。「あいーん」みたいになるかたは、あごはひいてください（笑）。ぐっと口角があがると脳が笑っていると勘違いし、セロトニンの分泌量が増え、リラックス状態を創りだすといわれます。そのまま60秒続けてください。まずは無表情からの脱出をはかりましょう。

(三重病院 高村純子)



今後の研修案内



1月23日(土) 10:00~12:00

* ZOOMオンライン研修
『コロナ禍の面接技術』

2月14日(日) 10:00~12:00

* ZOOMオンライン研修
『2020年度実践報告会』

詳細については協会から届くご案内を参照してください。
ふるってご参加ください。お待ちしております。
ZOOMオンライン研修の受講方法が分からない方は
お気軽に協会事務局へお問い合わせ下さい。

編集 後記

コロナ禍でMSWとしての日常もさまざまな変容が求められ、皆さんもストレスフルな日々を送っている事と思います。私は、毎日力強く昇る朝日に励まされ、優しく照らす月明かりに癒され、普遍的な美しさに何度となく救われました。

今年も強敵なウイルスを前に私たちMSWは無力だと落ち込む時があるかもしれませんが、そんな時こそMSWにとって普遍的で尊い倫理綱領・業務指針に立ち返り、まずは気持ちからコロナに打ち勝ちましょう。そして誰かの勇気や救いになれるよう今年も皆で頑張りましょう。

担当:兵倉・小坂・松田